



第9回林業技能競技会表彰者

CONTENTS

◇くまもと林業担い手の元気づくり大会……………	2	◇林業就業参入支援事業……………	7
◇第9回熊本県林業技能競技会……………	3	◇新規就労者意見交換会……………	7
◇雇用管理者研修会……………	4	◇平成22年度「定期総会」の開催……………	8
◇林業体験学習会……………	4	◇労働安全研修会……………	9
◇平成22年度林業技能作業士養成研修……………	5	◇労働基準法の改正……………	9
◇林業就業支援講習……………	5	◇永年勤続表彰……………	10
◇緑の雇用担い手対策事業……………	6	◇林業退職金共済制度……………	10
◇先進優良事業者体訪問……………	6	◇森林の仕事ガイダンス開催案内……………	11

巻頭言

私は小学生の頃、よく祖父と杉山の補植に行くことがありました。その山が今では立派に成長しております。昭和30年代は、山は宝で、売れば大金が入る時代でした。植林が盛んになったのもその頃からです。

しかし、外材の輸入が盛んになり、国産材のシェアは四分の一以下となってしまいました。以前は林業の中心は木炭の生産と建築用材としての素材生産でした。ところが木炭から化石燃料へと変わり、天然林はその経済的重要度が低下し放置されました。建築用材のスギ、ヒノキ素材価格は、昭和55年をピークに下降線を描き、現在ではスギが立方一万円をきる状況になっています。素材価格が低迷するに従って取扱量も激減しております。つまり、木材価格の下落で生産原価より安くなり、木材を搬出し、販売するよりも林内に放置したほうがよくなっています。「経済的に割があわない。」、「儲からない。」が合い言葉のようになり、山林の管理・維持に大きな影響を与え、山林に関して無関心、放置化が進んでおります。また、以前は各林業事業体に仕事を行う担い手が多くいましたが、木材価格の低迷とともに跡を継ぐ者が自然に減少し、事業に支障をきたすようになりました。

そのような中、数年前より「緑の雇用担い手対策事業」が創設され、担い手の増員確保、基礎技術の習得向上に大きく貢献してきました。今後も同事業が継続され、林業労働力の確保に大きく役立つことが求められています。もし、廃止になれば労働力確保に支障をきたすことが危惧されます。また、昨年森林・林業再生プランが策定され、10年後の目標として国産材自給率50%が掲げられました。目標を達成するため、森林・林業の現場に即した、実行力のある事業予算の確保を切に要望するものです。

森林所有者にとって経済価値が少なくなった森林が、国の施策により蘇り、意欲を持って経営できるような時代に、そしてそこで働く人々が誇りを持ち、安全で安心して働ける時代が来ることを切に願っております。

関係各位のさらなる精進をお願いする次第です。



熊本県認定事業者連絡協議会
会長 高木 昭人

くまもと林業担い手の元気づくり大会



廣田農林水産部長挨拶

- ◇開催日 平成22年10月25日(月)
- ◇会場 グランメッセ熊本(上益城郡益城町)
- ◇主催 **くまもと林業担い手の元気づくり大会実行委員会**
(熊本県、(財)熊本県林業従事者育成基金、熊本県森林組合連合会、熊本県認定事業者連絡協議会、熊本県林業研究グループ連絡協議会)

くまもと林業担い手の元気づくり大会は、林業担い手(山で働く人々)の研鑽を図り、林業担い手の役割を広く県民に知っていただき、林業担い手の元気づくりをめざすことを目的として平成18年度から毎年開催しています。

今年も県内の林業関係者、行政(九州森林管理局、熊本労働局、県、市町村)関係者及び県民等約260人が参加して開催されました。

廣田熊本県農林水産部長の主催者挨拶の後、お三人(九州森林管理局長、熊本労働局長、県林活議連会長)のご来賓からそれぞれ温かい激励の言葉を賜り、第9回「熊本県林業技能競技会」の入賞者の表彰と記録映像の放映や、林業従事者(担い手)等4名による「活動報告」が行われ、午後は熊本大学徳野先生の「講演」が行われました。

会場の参加者たちは、林業に懸ける担い手の意気込みやその重要な役割について認識を深め、林業担い手にこれからの活躍を祈念し心から激励を行いました。

(主な内容)

◆表彰式、記録映像放映

第9回「熊本県林業技能競技会」表彰

◆活動報告

- | | |
|--------------|--------|
| 御船町林業研究グループ | 永野 芳行氏 |
| 「御船町林研活動報告」 | |
| 八代森林組合 | 黒木 優治氏 |
| 「緑の雇用研修を終えて」 | |
| 水俣芦北森林組合 | 松本 将昭氏 |
| 「林業の担い手として」 | |
| 九州横井林業(株) | 平田 秀弘氏 |
| 「林業に従事して」 | |



大会の様子



林業技能競技会表彰



活動報告

講 演題：林業におけるパラダイム(基本的枠組)の転換

演 講師：熊本大学文学部教授 徳野 貞雄 氏

第9回熊本県林業技能競技会

◇開催日

平成22年 8月27日(金)

◇会場

熊本県菊池市旭志
(菊池市有林 鋸石団地内)

◇主催

(財)熊本県林業従事者育成基金
熊本県認定事業体連絡協議会



選手宣誓

安全

正確

迅速

評価

県内の林業従事者が、林業現場に必要な知識や技術・技能を競い合う「熊本県林業技能競技会」が、菊池市旭志の市有林「鋸石団地」の一角を会場として開催されました。

この競技会は、県内林業事業体の現場職員が、林業に関する技能を競うことにより、林業従事者の技能の向上と林業労働安全衛生の意識の高揚を図り、もって森林・林業の健全な発展に資することを目的に毎年1回開催されています。

今回は第9回目の開催となり、「総合部門」に13事業体から13チーム、「高性能林業機械運転操作部門」に7事業体から7名の競技者が参加し、各部門で日頃それぞれの現場で鍛えた技術・技能を競い合いました。

総合の部の選手は、1事業体2人1組で、林業知識、森林評価、目立玉切、伐倒枝払の4つの種目を実施し、高性能林業機械運転操作部門の選手は、1事業体1人で「プロセッサ」を使用して行われました。

入賞者一覧

総合部門

- | | | |
|---------------------|-----------|-----------|
| 1位：熊本県賞 | 志崎将、橋口寛 | (菊池森林組合) |
| 2位：熊本県認定事業体連絡協議会賞 | 小山修三、秋吉一廣 | ((有)秋吉林業) |
| 3位：(財)熊本県林業従事者育成基金賞 | 内山秀二、川原権 | (上球磨森林組合) |

高性能林業機械運転操作部門

- | | | |
|---------------------|-------|-------------|
| 1位：熊本県賞 | 今村孝明 | ((株)今村林業) |
| 2位：熊本県認定事業体連絡協議会賞 | 石塚俊司 | ((株)泉林業) |
| 3位：(財)熊本県林業従事者育成基金賞 | 山井昭太郎 | ((有)球磨松本林業) |



高性能林業機械運転操作部門



総合部門 (伐倒・枝払)



総合部門 (目立・玉切)

雇用管理者研修会



- ◇開催日 平成22年6月8日(火)
- ◇会場 グランメッセ熊本(上益城郡益城町)
- ◇主催者 (財)熊本県林業従事者育成基金



研修会の様子

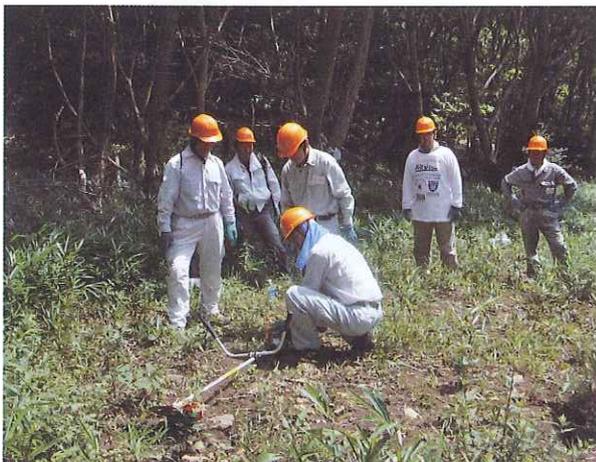
この研修会は、平成22年度地域林業雇用改善促進事業の一環として、事業主や雇用管理者を対象に、雇用管理者の資質の向上や林業労働者に係る雇用管理の改善等を図ることを目的として開催されました。

併せて、(財)熊本県林業従事者育成基金(森事務局長)から、「(財)熊本県林業従事者育成基金の助成事業」について、説明を行いました。

講演

- I 「林業労働災害の現状と今後の労働災害防止対策について」
熊本労働局労働基準部 安全衛生課 安全専門官 道長忠幸 氏
- II 「雇用管理の改善 ～従業員の定着に向けて」
社会保険労務士 佐伯恵美子 氏

林業体験学習会



下草刈り研修

- ◇開催日 自：平成22年8月7日(土)
至：平成22年8月8日(日)
- ◇会場 J A熊本教育センター、菊池森林組合管内作業現場、菊池森林組合
- ◇主催者 (財)熊本県林業従事者育成基金

平成22年度「林業体験学習会」が、菊池森林組合の御協力を得て、1泊2日の合宿研修方式で行われました。

合志市業の「JA熊本教育センター」を合宿所として、熊本県内各地や福岡県、佐賀県等の県内外の人10名が参加。初日は同センター内で、林業に関する基礎

知識や森林・林業・木材産業の現状について講義を受講後、午後は菊池市旭志の鞍岳山麓の山林で、菊池森林組合職員の指導を受けながら、鎌や刈払機による下草刈り。二日目も鞍岳山麓の山林で、チェーンソーによる伐倒作業を体験。午後は、菊池森林組合会議室で事業体関係者や、新規就業者との意見交換会に参加。活発な意見交換が行われました。林業就業に興味を持つ参加者達は、最後まで興味深く熱心に体験学習に取り組みました。

平成22年度林業技能作業士(グリーンワーカー)養成研修

この研修は、地域林業の中核となる優秀な担い手の養成を目的に実施するもので、昭和56年度から開催されています。

本年度は、12名の研修生が参加し、延べ60日間に渡り、フォークリフト運転、車両系建設機械運転、小型移動式クレーン運転、玉掛け、林業架線主任者、不整地運搬車運転技能講習や作業道の測量設計及び作設、高性能林業機械運転操作、苗木生産技術などの研修を受講しました。

今後、各事業体において、林業技能作業士(グリーンワーカー)としての誇りを胸に活躍することを期待しています。

今年度の研修修了者

- 虎口 明主 : (有) 虎口建設
- 小山 修三 : (有) 秋吉林業
- 奈須 隆昭 : 阿蘇林業
- 柳原 達哉 : 人吉市森林組合
- 緒方 洋 : 球磨村森林組合
- 川邊 靖司 : (有) 永山林業
- 川邊 俊二 : (資) 松本林業
- 源嶋 泰利 : (資) 松本林業
- 森下 真吾 : (有) 永森
- 久保 貴史 : 清水産業(株)
- 谷口 正 : (株) 谷口林業
- 野口 正明 : 天草地域森林組合



今年度の研修生



ロープワーク実習

林業就業支援講習

新たに林業への就業を希望する求職者に対して、林業作業等を体験してもらうことにより、林業労働に対する理解を深め、林業への円滑な就業を支援する事業ですが、今年度は10名の方が参加されました。

昨年に比べ少ない参加者数でしたが、皆さん真剣に講習に取り組まれ、多くの方が講習終了後すぐに当基金に求職票を出されました。

今後は、参加された方々が林業への道に進めるよう、雇用アドバイザーを中心にして手助けをしていく次第です。



地拵え実習



講習を修了した10名の方々

緑の雇用担い手対策事業

(財)熊本県林業従事者育成基金では、緑の雇用担い手対策事業体として全国森林組合連合から委託を受け、「基本研修」、「施業効率化研修」、「指導能力向上研修」それぞれの集合研修を実施しています。

また、熊本県が全国に先駆けて実施している「講師養成研修」の委託も熊本県から受けており、この研修については、上記「指導能力向上研修」と併せ実施しています。

「基本研修」	参加者73名、研修期間14日間
「施業効率化研修」	参加者5名、研修期間7日間
「指導能力向上研修」、「講師養成研修」	参加者13名、研修期間8日間



現地でのインタビュー講義：基本研修



GPSを使用した調査方法研修：施業効率化研修



指導者に求められる役割：指導能力向上研修



高性能林業機械のメンテ等：講師養成研修

先進優良事業体訪問

平成22年度林業技能作業士養成研修及び講師養成研修において、それぞれ他県の先進優良事業体を訪問し、その事業体の取組みや考え方などをご教示いただきました。

研修生にとって、自分が所属する事業体との考え方の違いや、現場の状況等の違いを実際に見聞きすることは、今後の業務を推進していく中で、大変参考となったようです。

<訪問した事業体>

「林業技能作業士養成研修」

- ・(株)九州ウッドマテリアル：大分県日田市
- ・久恒森林(株)：大分県中津市

「講師養成研修」

- ・始良西部森林組合：鹿児島県始良郡
- ・(有) 畠中林業：鹿児島県鹿児島市

林業就業参入支援事業

「林建連携雇用創出プロジェクト」がスタート

「林建連携雇用創出プロジェクト」は、本年度から始まった事業で、他産業に比べ高齢化が進んでいる林業と林業への参入を模索する建設業等が、人材、機材やノウハウ等を相互補完することにより、雇用の確保や山村地域の活性化を図ることを支援するもので、その一環として、当基金では県より委託を受け、林業就業参入支援事業に取り組みました。

当事業では、林業就業を志す林業未経験者の22名が8月から2月までの100日間の研修（長期研修）に取り組んでおり、また、林業参入を試みる建設業の社員17名が9月から11月までの30日間の研修（短期研修）に取り組みました。

研修では、森林・林業に関する基礎知識や林業作業の実技体験、資格取得に必要な法定技能講習等を実施していますが、研修生は皆熱心に受講しています。



研修会の様子



研修会の様子

新規就労者意見交換会

新規就労者の人達は、初めて林業に就業してみて現実の違い等色々の不安や悩みがあり、定着率が悪くなるという現実があります。

この意見交換会は、このような新規就労者の悩みの減少や、自己啓発の一助にするため、平成22年2月17日に熊本会場で、平成22年2月19日に人吉会場で、平成20年度「緑の雇用担い手対策事業研修」を修了した人を対象に実施したもので、24名の参加がありました。

講師は、有限会社ビジネスアシスト代表取締役で社会保険労務士の菅原孝二氏にお願いし、「新規就労者の定着に向けて」と題して、講演がありました。講演のあと、菅原氏を座長に意見交換会を行いました。

提出された主な意見

テーマ
1

私の夢

- ・早く一人前の林業技術者になること
- ・山主に仕事の結果を喜ばれること

テーマ
2

やる気が起きるとき

- ・造材がうまいいき、木材が高く売れたとき
- ・自分の思い通り仕事が済んだとき
- ・仕事が終わって、周りの人から褒められたとき

テーマ
3

今の悩み

- ・重労働で危険が伴う仕事の割に賃金が安い
- ・交通費をもっと出して欲しい



交換会の様子

平成22年度「定期総会」の開催

“引き続いて林業労働災害防止の取り組みを強化”



総会の様子

熊本県認定事業体連絡協議会の平成22年度定期総会は、平成22年6月8日(火)午前10時から、グランメッセ熊本(上益城郡益城町)で開催されました。

総会では、前年度の事業報告・収支決算や平成22年度の事業計画・予算案について審議が行われ承認されました。

特に、一昨年度から取り組んでいる「林業労働災害防止」への取り組みについては、作業現場の指導にあたる作業班長を対象に、ゼロ災への意識向上を図るため「労働安全研修会」を実施しましたが、これを継続していくことが「災害を未然に防止していくこと」につながるとして研修会を各地で実施していくことが決まりました。

今後とも、関係行政機関や(財)熊本県林業従事者育成基金と連携し、目的達成に向け会員相互の理解と協力を得ながら事業の推進を図ることとしています。

また、役員改選が行われ、会長に高木昭人氏が、副会長に永山芳宏氏と今村健正氏が選任されました。平成22年11月現在、下記の新会員を迎え、62の認定事業体で構成しています。

(平成22年度事業)

- 1 第9回熊本県林業技能競技会 (共催)
平成22年8月27日(金)
- 2 くまもと林業担い手の元気づくり大会 (共催)
平成22年10月25日(月)
- 3 先進優良事業体視察研修
平成23年1月(予定)
- 4 労働安全研修会 (県内6会場で開催)
平成22年11月22日～12月2日
- 5 (財)熊本県林業従事者育成基金主催行事の協力

《新会員紹介》

(有)水上林業	代表取締役	水上 博司
(株)大津技研	代表取締役	木村 幹男
新野産業	代表	新野 国徳
八代林業技術(有)	代表取締役	高山 俊一
白石林業	代表	白石 安記
堀田木材店	代表	堀田 民雄

《新役員紹介》

会長 高木 昭人	
玉名森林組合	代表理事組合長
副会長 永山 芳宏	
(有)永山林業	代表取締役
副会長 今村 健正	
阿蘇森林組合	代表理事組合長
役員 内山 伸二	
(株)南栄	代表取締役
役員 荒川 勝喜	
水俣芦北森林組合	代表理事組合長
役員 那須 主隆	
九州横井林業(株)	代表取締役
役員 池田 和貴	
天草地域森林組合	代表理事組合長
役員 東 生吾	
人吉市森林組合	代表理事組合長
監事 的場 邦弘	
上球磨森林組合	代表理事組合長
監事 西山 浩次	
矢部愛林(有)	代表取締役

労働安全研修会

県下6会場で開催

危険をよみ、災害の芽をつむ
「リスクアセスメント実践に向けて」

熊本県認定事業体連絡協議会では、会員事業体の林業労働災害の発生を未然に防止しようと「労働安全研修会」を開催しました。

県下6会場での各研修会では、直接作業現場の指揮を執る作業班長クラスを対象として、38事業体137名の出席があり、“ゼロ災で行こう”

を合い言葉に、各現場の作業がどれくらい危険か(リスク)をランク付けし、事前に評価(アセスメント)する「リスクアセスメント」の実践方法について専門講師の指導を受けながら、参加者全員グループ毎に想定された課題に真剣に取り組み、実際の現場に活かす方法を体験し学びました。



研修会の様子

労働基準法が一部改正されました。

平成22年4月1日施行

事業主の方は、下記の点に留意して取組みをお願いします。

1. 時間外労働の割増賃金の率が引き上げられました。

- ① 1ヶ月60時間を超える時間外労働については、法定割増賃金が現行の25/100から、**50/100に引き上げ**られました。

(注) 休日労働35/100と深夜労働25/100は変更ありません。

- ② 労使協定の締結後、1ヶ月60時間を超える時間外労働を行った労働者に対して、割増賃金の支払いに替えて、**有給休暇の付与**も可能になりました。

(注) 上記の有給休暇を取得した場合でも、現行の25/100の割増賃金の支払は必要です。

2. 割増賃金引き上げなどの努力義務が生じます。

3. 年次有給休暇を、時間単位で取得できます。

(注) 企業の規模にかかわらず、適用されます。

- ① 事業場で労使協定を締結すれば、子供の通院等の事由などに対応し、1年に**5日分を限度**として**時間単位**で取得できるようになりました。

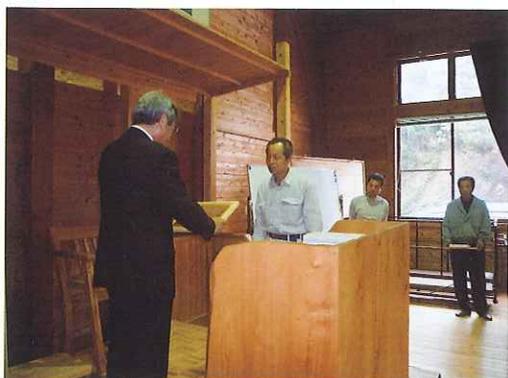
- ② 取得の方法は、労働者が**自由に選択**することができます。

表彰

平成21年度 永年勤続表彰 おめでとうございます

(財)熊本県林業従事者育成基金では、新規参入者の定着促進のため、勤続年数10年以上、退職金共済及び社会保険(雇用保険、健康保険、厚生年金又は農林年金の3点セット)加入年数3年以上の従事者を対象に“多年にわたる林業担い手としての地域林業発展にかかる功績を讃え”永年勤続表彰を行っています。

平成21年度は、7事業体の20名の方が表彰されました。



表彰の様子

(受賞者名)

鹿本森林組合

梶山 光夫
朝倉 武美
松本 義明
城 良一
添田 康春
手島 勝章
鈴木 直孝

菊池森林組合

田中 昭夫
土屋八太郎

(株)今村林業

豊田 勇

矢部愛林(有)

丸山 智史

上球磨森林組合

笹木 薫
蓑田 幸喜
田中 広文
堀江 亮太

球磨村森林組合

岡 健二

天草地域森林組合

田中 朗
松本 君夫
松下 修
小野 義樹

林業で働く人たちのために国が作った

退職金制度(林退共)紹介

加入できる事業主

林業(育林業、素材生産業、山林種苗業等)を営む者、専業・兼業を問わず加入できます。

対象となる従事者

林業で働く方なら、作業種別にかかわらず、また月給制・日給制・出来高制にもかわりなくすべての人が対象となります。いわゆる「一人親方」は任意組合をつくれれば対象となります。

この制度について詳しいことは、下記にお問い合わせ下さい。

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部

〒105-0011 東京都港区芝公園1-7-6 退職金機構ビル
TEL 03-5400-4334

“森林の仕事ガイダンス”開催案内

林業への就業を希望する皆様へ
林業就業相談・共同説明会へきませんか！

これから林業への就業をめざしている方々(森林で働きたい方)を対象に、林業への円滑な就業を支援するため、(財)熊本県林業従事者育成基金(熊本県林業労働確保支援センター)と県内の林業事業者(森林組合や林業会社)が共同で「森林の仕事ガイダンス」を開催します。

会場では、お一人お一人を面談方式で森林の仕事の内容や就業までの流れなど「森林の担い手」になるための相談にお応えし、各林業事業者が直接事業内容や雇用状況等を説明します。

◇開催日時：平成23年1月29日(土曜日)
(開場)10:00~16:00

◇会場：「グランメッセ熊本」(上益城郡益城町福富1010)
2階 大会議室

- ①林業の作業現場では、どのような仕事をするのか。
- ②林業へ就業するには、どのような手順で進めばよいか。
- ③林業への就業に向けて、どのような講習や研修などがあるか。
- ④県内には、どこの地域に森林組合や林業会社があるか。
- ⑤県内林業界の雇用状況はどのような状況か。

注：この「森林の仕事ガイダンス」は、面接会ではありません。

来場されて就業相談をされたり、種々の説明を受けることで、即、森林組合や林業会社に就職が決まるということではありませんので、このことについてご承知のうえでご来場下さい。

《お問い合わせ先》

主催者：(財)熊本県林業従事者育成基金(熊本県林業労働力確保支援センター)
電話 096-340-1151

(担当者：森、紫垣、駿河)

(財)熊本県林業従事者育成基金

(熊本県林業労働力確保支援センター)

林業労働無料職業紹介所(厚生労働大臣許可 平成19年11月1日)

所在地：熊本県熊本市水前寺6丁目5-19(熊本県住宅供給公社ビル2階)

電話：096-340-1151 FAX：096-340-1152

〈ホームページ〉<http://ikuseikikin.net/>